

三春VIVOの杜 再生プロジェクト 高田宏臣さんワークショップ



講師：高田宏臣さん

高田造園設計事務所代表。1969年生まれ。東京農工大学農学部林学科卒業。97年に独立、2007年高田造園設計事務所設立。造園の設計施工を行うほか、自治体や団体からの依頼で土木造作による環境改善、環境再生を行い、その活動は国内外で注目を集めている。特定非営利（NPO）法人ダーチャサポート理事、特定非営利活動法人（NPO）地球守代表理事。著書に「これからの雑木の庭」（主婦の友社）など。HPは<http://takadazouen.com>

お申し込みはラビーダへお電話またはメールにてお願いします。
詳細は追ってメールにてご連絡申し上げます。

024-959-3333 info@lavidia.co.jp



「景観10年 風景100年 風土1000年」という言葉があります。「景観」が、その地の自然と人との営みの100年の積み重ねの中で「風景」となり、土地と人との1000年の関わり合いの中で、ゆっくりと育った土地がいつしか特有の「風土」となる。もはや人の暮らしも自然の営みの中に一体となって境目がなくなる。そこにこそ調和も平和も美しさも生まれ、身土不二の人の心の拠り所となるでしょう。（高田さんブログより抜粋）

わたしたちはこの数年、原発事故やたくさんの自然災害を経験しています。特に福島の人々はふるさとの土・水・空気の大切さをあの時とても感じました。古の人々がこの大地や森を利用し、大地も人の造作を利用してより豊かに息づいてきたことを、私は高田さんのワークショップに参加して気がつきまし

た。未来を思い、土地を思い、子孫へつないでいく。

すぐに結果のでる話ではありませんが、ご縁のあったこの三春vivoの杜でワークショップを通じて学び、体感し、それぞれの場で活かしていただければと2日間にわたり開催します。今回は森や造園、木工に関わる方に多くご参加いただければ、と思っています。

なぜ竹やぶになるのか？

水脈と菌糸の関係性って？

山が、土が呼吸するって？ がわかり、実際にワークを通じて体感していきます。

人気の高田さんを迎えての2日間に渡る贅沢な時間です。ご参加お待ちしております。

（お申し込みの方に詳細お知らせ申し上げます。）